



〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学院
文京学院大学外国語学部・経営学部・
人間学部・保健医療技術学部／大学院
／文京学院大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校
文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

New Year Messages

“データサイエンス”が 次世代のキーワード

学院長・理事長 島田昌和



100周年の記念行事を通じて、学院の多くの在校生・卒業生からこの学校を心から愛するエネルギーをもらう事ができました。引き続き、秋に封切り予定の100周年記念の劇場公開映画も楽しみにしててください。2025年は次のステップに大きく踏み出す年となります。新たに取り組む大学の新学部“ヒューマン・データサイエンス学部”（仮称 設置構想中）を基軸として、学院のすべての教育が次世代モデルとなれるよう尽力して参ります。

人間として
大切な
3つのこと



自ら創造的に！
学長 福井 勉

新年あけましておめでとうございます。
本学院は昨年、創立100周年を迎えることができました。これも皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今年、101年目に突入する本学院は、「更なる覚悟で」というテーマのもと、次の100年に向けた新たな挑戦を開始します。伝統を大切にしながらも変化を恐れず、教育・研究・社会貢献に新たな価値を創造的に取り組んで参りましょう。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。



創立者
島田依史子

更なる覚悟で～101年目の決意～



名誉学院長
島田燐子

皆様、令和7年の新春のお慶びを申し上げます。園児、生徒、学生の皆様、ご家族そして学院の教職員の皆様にとりましても、健康で幸せな1年でありますようお願い申し上げます。
AI等新しい技術を社会の皆様のために安全に使うには、①誠実さをもつ ②思いやりをもつ ③社会のために尽くすといった人間としての基本の共通認識を持ち、「更なる覚悟で」身につけられるようにすることが大切です。



101ページ目の 始まり

中学校高等学校 校長 清水直樹

関東大震災後の1924年。最初の1ページ目は、本郷の地で創立者島田依史子先生と15人の女子生徒たちの学びから始まりました。次々に新たなページが積み重ねられた2024年。とうとう100ページ目までたどり着きました。多くの困難を乗り越えてきた先人たちの苦勞を胸に刻んで迎えた2025年。101ページ目の始まりです。100年の誇りを持ちながら、20年先の時代を読み取った新たな教育へ。私たちは更なる覚悟を持って進んでまいります。

子どもが
育ち合う
幼稚園として

幼稚園で育てるべき力とは

文京幼稚園 園長 益田薫子



子どもが21世紀を力強く生き抜くために必要なのは、困難なことに直面しても、自分の頭で考え、何度でも挑戦していく心を育てることが重要だと思います。子どもにとって、園は安心して自己を発揮できる場であること、人とたくさん関わる中で他人の気持ちが理解でき、自分達で園生活を作り上げることが基本であり、その中で意欲も多く育まれます。これまで文京学院で大切にしてきたことを守りながら、新しい時代に合わせて様々な挑戦もしていきます。



ふじみ野幼稚園 園長
柄田 毅

ふじみ野幼稚園は、埼玉県南西部ふじみ野市にあり、地域の子どもたちがあそび、共に育ち合うところとして歩んできました。新しい年を迎え、改めてその歴史と実績を継承し、子どもたちが地域で育ち合い、世界に翔び立つところでありたいと考えます。そのために、未来をつくる子どものチカラを育み、グローバルかつインクルーシブな保育を行い、さまざまな人との交流やあそびと学びが豊かにある幼稚園として、これからも進んでいきます。

新年のごあいさつ

祝福すべき100年と挑戦

中学生徒会 会長 高井 莉瑚 (3年栗組)



新年あけましておめでとうございます。文京学院は昨年100周年を迎えました。中学生徒会は100周年のお祝いとして、文女祭で100周年と関連づけた企画も考えました。「100を釣ろう」と「箱の中身はなんだろう」の景品を100周年のキーホルダーとシールにしました。多くの方々に楽しんでいただけて、生徒会一同とても嬉しかったです。第43期の活動は残り僅かとなってしまいましたが、最後まで仲間と共に新しいことに挑戦し、走り続けたいです。

100年のその先へ

高校生徒会 会長 岩崎 文音 (2年藤組)



新年あけましておめでとうございます。昨年は本学院の創立100周年を迎え、歴史の重みを感じるとともに、私たちが次の時代に向けて何を成すべきかを考える一年でもありました。今年はその100周年の精神を胸に、より一層学校全体の活気を高め、皆さん一人一人が自分の可能性を広げられるように生徒会一同精進してまいります。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

ささやかな彩りを

本郷キャンパス学生自治会本部 会長 小林 竜大 (経営学部2年)



新年あけましておめでとうございます。皆様の温かいご協力で日々支えられ、学生自治会は活動を円滑に進めることができている。心より感謝申し上げます。昨年は多くの活発な新入生が入会し、賑やかに活動をおこなって参りました。本年も例年通りイベントを実施する予定です。どうぞご期待ください。皆様の毎日にささやかな彩りを添えられるよう、学生自治会一同励んで参ります。今後とも宜しくお願いいたします。

学生生活の支えとして

ふじみ野キャンパス学生会本部 会長 高橋 淳之介 (人間学部3年)



新年あけましておめでとうございます。日頃より、学生会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年は様々なイベントへの参加や新規団体の設立など、学内活動がより活発化した一年になりました。今年も、団体運営の円滑化や皆様が楽しめるイベントの企画、キャンパス間の交流促進、新規役員募集に挑戦してまいります。引き続きご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

大学 レイクランド大学ジャパン・キャンパスとの英語プレゼンテーションコンテスト開催

10月30日、本郷キャンパスにて、包括協定校の레이크ランド大学ジャパン・キャンパス (LUJ) との合同英語プレゼンテーションコンテスト「2024 LUJ×BGU PRESENTATION CONTEST」が開催されました。



大久保さん(左)とWei Tongさん(右)

今回のコンテストは、本学外国語学部1年次必修科目「初年次セミナーb」の一環として行われ、「Change」をテーマに、両大学で選ばれた学生ファイナリスト10名が登場しました。本テーマは「変化することの大切さ」を学生に考える機会にしてほしいという想いが込められています。本学外国語学部の金 彦叔学部長・教授、Gary Ireland教授と、레이크ランド大学ジャパン・キャンパスのDr. Paul Snowden, Dean Charles Laurierが審査員を務めました。両大学の学生が「No change or change」「The Change in Our Culture.」など、「Change」に関する様々なタイトルで熱のこもったスピーチを披露しました。最後に、審査員によって「第1位」から「第3位」が決定。さらに、会場にいた学生の投票で「Best of BGU」、「Best of LUJ」が選出されました。本学からは、Wei Tongさん(大学院外国語学専攻1年)が「第1位」「Best of BGU」のダブル受賞、大久保光優さん(経営学部3年)が「第2位」に輝きました。本学の受賞学生のコメントを以下に掲載します。

Wei Tong (大学院外国語学専攻1年)
この度、LGBTQに関するスピーチで入賞をいただき、大変光栄に思っております。まず、外国語学専攻科のWendy M. Gough准教授をはじめとする先生方、そして多くの関係者からのご指導とご支援に心より感謝申し上げます。皆様のサポートがあってこそ、今回の成果を得ることができました。また、多くの方々からLGBTQや性の多様性について理解を深め、少数者の困難さに共感していただくことができ、私自身大変嬉しく思います。これからも、多様性を尊重し合える世界を目指して、皆さんと一緒に頑張りたいです。

大久保光優 (経営学部3年)
英語プレゼンテーションコンテストに出場することは、私にとってとても大きな挑戦でした。しかし、周囲の支えがあったからこそ、一歩を踏み出して挑戦することができました。特に、私の背中を押し、原動力を与えてくださった、担当教員である経営学部のサンドラ櫛橋教授には心から感謝しています。

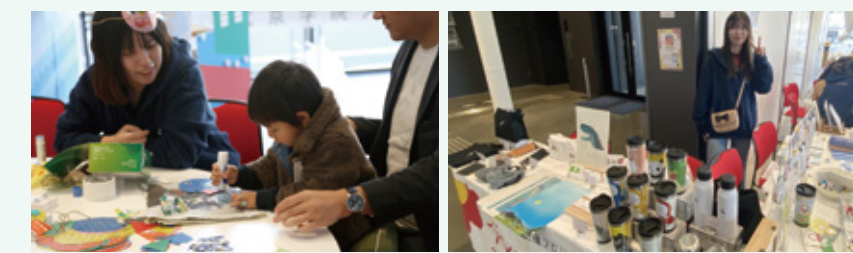
大学 釜石市主催「海と希望の学園祭 in kamaishi」に経営学部生が出展・チャリティ販売を実施

11月9日・10日の2日間、岩手県釜石市で「海と希望の学園祭 in kamaishi」が開催され、今年も本学の経営学部生が出展・チャリティ販売を実施しました。本学は、以前より釜石市と連携し、東日本大震災復興支援や地域交流に繋がる様々な取り組みを実施しており、2020年2月には、地域社会の発展・人材育成及び学術の振興に寄与することを目的とした包括連携協定を締結。2024年5月にも、学生が釜石市で授業を受けながら地元企業や行政と共に地域課題の解決に取り組む「釜石スタディケーション」を実施するなど、多くの接点を持ってまいりました。

本イベントは、例年釜石市より出展の打診を受け、本学の学生にとって地域活性化や街の賑わいづくりを学ぶ場にもなることから、本学も後援しています。

3回目の出展となる今年は、ペットボトルキャップ3,177個を使用して大きな船をつくるリサイクルアートの展示や、例年好評を博している親子で楽しめるワークショップとして、リサイクル素材を使用してつくる「ペタペタお魚かんむりづくり」、三陸産の経木でつくる美しい「魚のモビールづくり」などが実施され、地元の子どもから大人まで、大盛況でした。

また、本学の東日本大震災復興支援団体「プレーメンズ」において、学生たちが商品企画・制作を行ったオリジナルグッズのチャリティ販売も行われました。尚、グッズの売上は、全額釜石市の団体に寄付されます。



ワークショップを楽しむ参加者 「プレーメンズ」によるチャリティ販売の様子

特集 注目のトピックス

Topic 01 11月23・24日
「おやつで感じる国際理解」をテーマに「子ども大学ふじみ野」を本学で開講

Topic 02 11月29日
米カリフォルニアのクラブチーム「Surfside」が来日 高校バレーボール部との交流戦実施&書道の授業に参加

Topic 03 12月6日
「文京オレンジデーキャンペーン」に協力 外国語学部生が学内で女性への暴力撤廃を啓発

2024年、本学院は創立100周年、文京幼稚園は創立70周年を迎え、それぞれ周年を記念した関連イベントが開催されました。

学院 文京学院100周年記念音楽交流イベントを開催



小林剛史教授

12月8日、ふじみ野キャンパスにて、学院創立100周年を記念した初の”世代を超えた音楽交流イベント”「アートと人 つながる・つどう コンサート&ワークショップ」が開催されました。

本イベントは、本学院と包括連携協定を締結しているパシフィックフィルハーモニア東京のほか、ふじみ野市音楽家協会、三芳ウインドオーケストラのご協力のもと開催され、ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業にも採択されています。第一部は「プロから教えてもらおう!」「楽器体験しよう!」「プロの歌手とともに100人で合唱曲をうたおう!」の3つのワークショップを開催しました。楽器体験では、ヴァイオリンやサクソフをはじめとする10種類の楽器が用意され、未経験者も楽しみながら指導を受けました。

さらに、午後の第二部では、パシフィックフィルハーモニア東京による「弦楽四重奏」コンサートに加え、本学人間学部の小林剛史教授ならびに渡辺行野准教授による「フルートとピアノのDuo」コンサートも行われました。誰もがなじみのある曲や、季節に合わせたクリスマスの曲も演奏され、参加者はさまざまな形で音楽を楽しみました。

今回のイベントは、学院創立100周年を記念した音楽交流イベントの第1弾となり、約400名の来場者が訪れ大盛況となりました。次回は第2弾として2025年3月22日(土)に、ふじみ野ステラ・ウェストホールで開催予定です。ぜひご期待ください。



多くの参加者が魅了されたコンサート



ヴァイオリン体験をする参加者



参加者にわかりやすく指導するプロ奏者



合唱曲『群青』を練習する参加者

幼稚園 文京幼稚園「創立70周年記念邦楽コンサート」開催

1954年に開園された文京学院大学文京幼稚園は、創立70周年を迎えました。それを記念し、11月23日には文京学院大学本郷キャンパスの仁愛ホールにて「創立70周年記念邦楽コンサート」が開催されました。囃子方として多方面で活躍されている卒園生の藤舎呂近氏のご縁で、鼓・太鼓・三味線・笛等の和楽器奏者と唄方に出演いただきました。

囃子曲や長唄の演奏だけでなく、藤舎氏によるクイズを交えての和楽器紹介や、園児には段ボールで製作した「手作りの締め太鼓」を持参してもらい、ワークショップとして一緒に演奏するなど、貴重な体験の機会となりました。昔話『三枚のお札』とお囃子が融合した作品の披露もあり、参加者は、その迫力に息を飲んで鑑賞していました。

創立70周年を機に、自らの夢を叶えて活躍している卒園生をお招きしての舞台出演、さらには将来に向かって夢いっぱいの子どもたちとお話をいただくことができ、素晴らしい時間となりました。



披露された昔話と融合した囃子



和楽器演奏の様子

大学 「渋沢栄一のことを面白い程よくわかる授業」「イベント×映画 エンタメ教授対談」動画公開!

11月から12月にかけて「渋沢栄一のことを面白い程よくわかる授業」シリーズ動画、「イベント×映画 エンタメ教授対談」動画が、公式YouTubeチャンネルにて公開されました。ぜひ、ご覧ください。

▶「渋沢栄一のことを面白い程よくわかる授業」シリーズ(全4編)

渋沢栄一研究の第一人者であり、本学院の学院長・理事長でもある経営学部 島田昌和教授が、本校の中高生7名に授業形式で教えていく全4編にわたる動画シリーズ。渋沢と歴史上の有名な偉人達との意外な関係性に焦点をあてた動画で、渋沢の生涯や考え、偉業をこれまでに見ていない視点から解説しています。生徒たちの鋭い考察や個性豊かな発言にもご注目ください。



- 第1弾: 彼を政府に誘った偉人とは (渋沢栄一 × 福沢諭吉・大隈重信 編)
- 第2弾: とともに政府を抜けた偉人とは (渋沢栄一 × 大久保利通・井上馨 編)
- 第3弾: 彼を気に入った幕末の有名人名とは (渋沢栄一 × 西郷隆盛・勝海舟 編)
- 第4弾: 新選組を一喝?! 彼の意外な一面とは (渋沢栄一 × 近藤勇 編)

▶「イベント×映画 エンタメ教授対談」

映画プロデューサーであり、映画会社の取締役なども務めた経営学部 公野勉教授と、エンタメ全般のマーケティング・コミュニケーションの研究を行い、イベントプロデュースなどの経験も豊富な同学部 瀧田俊也教授による対談動画。それぞれ異なる視点を持つエンタメイベントのプロフェッショナルが、業界の最前線や活躍できる人材など幅広いテーマで話しています。



動画は「文京学院大学公式チャンネル」からご覧ください



大学 仁愛ホールが「グッド・ペインティング・カラー」内装部門で「最優秀賞」受賞

本郷キャンパスの仁愛ホールが、一般社団法人日本塗料工業会、日本塗料商業組合、一般社団法人日本塗装工業会が主催する環境色彩コンペティション「第27回グッド・ペインティング・カラー」の内装部門における「最優秀賞」を受賞しました。

仁愛ホールの内装改修工事は、株式会社竹中工務店が施工しており、2025年1月8日には、ホテルニューオータニ(東京)において表彰式が行われました。



耐震性が向上し、温かみと優しさに満ちた天井となった仁愛ホール

【訂正】

11月30日発行第802号3面「英語スピーチコンテスト」100周年記念大会開催に関する記事の見出し表記が『中学』となっております。正しくは、『高校』となります。訂正してお詫び申し上げます。

大学

「第64回日本学生経済ゼミナール関東部会大会」で 外国語学部渡部ゼミが8年ぶりに「最優秀賞」受賞の快挙

今年度、「第64回日本学生経済ゼミナール関東部会大会」の「プレゼンテーション部門」には、25大学123チームがエントリーし、10月の予選会を勝ち進んだ10チームが12月の本選に臨みました。

12月1日、本大会の本選が立正大学で開催され、本学の外国語学部 渡部吉昭教授のゼミナールに所属する学生による「Team Sky」「Team Marine」の2チームが出場し、3年生4名からなる「Team Sky」が、「最優秀賞」を受賞しました。渡部ゼミナールは、直近5年間の同大会において、今回で4度目の入賞となり、本学での「最優秀賞」受賞は、2016年の同大会での受賞(当時の新田ゼミナール)以来8年ぶりの快挙となりました。

渡部ゼミナールの2チームの発表(研究)内容は以下の通りです。

2チームの学生メンバーたち▶



「Team Sky」のメンバー
写真左から鞆江さん、明田さん、
春原さん、堀内さん

最優秀賞

「Team Sky」

春原 響さん、明田花織さん、鞆江彩花さん、堀内瑠依さん(外国語学部3年)
テーマ:「ステルスマーケティング(ステマ)から消費者を守る
～広告であることを隠した宣伝手法～」

インフルエンサーが企業からの報酬に基づいた広告であることを隠して商品を宣伝する“ステマ”をテーマに、「消費者」「広告発行者」「法規制」の3つの観点から問題点を分析。これらの問題解決のために、学生たちはまず、消費者認知拡大を目的とした若者向け、ミドル・シニア向けのセミナーを開催。広告発行者へのセミナーも行い、専門家監修の下、広告の健全度合いを表す「ステマ指数」「ステマ格付け」を考案しました。また、消費者庁および3名の国会議員と景表法の内容強化を目的とした意見交換を行い、「研究活動報告書」を提出。海外事例を参考に専門家と協議・構築した景表法の改善案について、海外の広告基準機構とも英語で意見交換を実施しました。さらに、消費者自身が身を守る術としての「ステマ対策マニュアル」を作成し、東京23区内の13区役所に設置してもらうなど、国会議員や消費者庁をはじめ、企業・NPO法人、大学教授などから多くの賛同を得た活動内容について発表しました。学生たちは今後も、定期的なセミナー開催を通じた消費者認知拡大や、国会議員との連携による法改正を目指した更なる協議などを継続していく予定です。

入賞

「Team Marine」

工藤翼さん、栗本倅多さん、高須梨沙さん、久保佳凜さん、近藤麗さん(外国語学部3年)
テーマ:「良好な家族関係を築くために
～価値観の違いによる悩みを解消する～」

家族との良好な関係構築をテーマに、悩みを解消するための処方箋がない現状と背景にある問題点を分析。その問題解決のために、学生たちは、家族に関する多様な価値観を学ぶ場として、「学生セミナー」を開催。セミナー開催後は、その内容をまとめた冊子として、専門家監修の下、「かぞくスマイルハンドブック」を作成。夫婦関係を良好に保つために話し合っておきたいポイント、価値観の違いについて学ぶ「価値観見比バシード」なども盛り込まれ、1都3県の商店街や公民館、地域の店舗をはじめ、企業数社にも配置してもらう活動を行いました。併せて、ミドル・シニア世代が持つ知恵や経験値を共有する場として、「多世代交流会」を都内7か所で開催。また、自治体の相談所に代わる独自のオンライン相談所として、「家族のお悩み相談チャット」の開設とその相談員のためのマニュアルも作成しました。さらに、国会議員や内閣府こども家庭庁、文京区議会議員、企業とも連携・意見交換しながら提案・啓蒙を行ったそれら一連の活動について発表しました。

幼稚園

「おおしま国際手づくり絵本コンクール」で「最優秀賞」受賞

11月1日、富山県の射水市絵本文化振興財団が主催する「おおしま国際手づくり絵本コンクール2024ジュニアの部」の審査結果が発表され、文京幼稚園年長組の杉山瑠珂さんの『にじこちゃんつきたちをすくう』が「最優秀賞」(文部科学大臣賞)を受賞しました。杉山さんは、昨年の「朝日新聞社賞」受賞に続いて2年連続での入賞となります。

杉山さんは自身の絵本作品について、「今年は絵の具を使うのが上手になったので、絵の具も使いました。にじこちゃんの絵をかくときに難しかったのは、頭を描くところでした。私はにじこちゃんと同じで運動が好きです。だから、にじこちゃんの元気な場面から始まっている明るいお話になりました」とコメントしました。そして「素晴らしい賞をありがとうございます。これからも絵本を作りたいです」と話しました。



中学

バレーボール部「東京都中学校新人大会」で「準優勝」

11月17日・23日・24日の3日間、「東京都中学校バレーボール新人大会」が開催されました。中学1・2年生による新チームの大会として、女子の部は64チームが参加となりました。

夏に実施された全国大会で3位入賞を果たしたメンバーを中心とした、高い攻撃力が特徴の新チームは、区大会とブロック大会で優勝を果たし、今回の大会でも上位進出が期待されていました。

そしてむかえた本大会において、準々決勝では小石川淑徳学園、準決勝では駿台学園と対戦。それらの同じブロックのライバルチームとの接戦を制し、決勝へ進出しました。

決勝戦は、夏の関東大会決勝の再戦となる東京立正中学校との対戦となりました。勝負所でのラリーを制することができず、惜しくも敗れ、7年ぶりの優勝とはなりませんが、見事「準優勝」に輝きました。

来年の夏は長崎県で全国大会が開催されます。今回の大会では「準優勝」という自信と収穫、そして課題の両方を得られた大会となりました。これから目標である「日本一」を目指し、中学生たちは練習を積み重ねていきます。

